

株式会社血栓トランスレーショナルリサーチラボ

Thrombo Translational Research Lab Inc.

UXプロジェクト・コーディネート事業に関する ご報告と今後について



2026

企業概況・代表プロフィール



会社名	株式会社血栓トランスレーショナルリサーチラボ
設立	2019年10月1日
住所	熊本県熊本市中央区南熊本三丁目14番3号 くまもと大学連携インキュベータ303号室
資本金	5,000千円
代表者	代表取締役社長 神窪 勇一
主な事業内容	①血栓がかかわる病気（心筋梗塞、脳梗塞、エコノミークラス症候群など）の予防と治療に向けた血栓検査薬とその検査装置に関する研究開発、製造、販売事業 ②血栓症の発症前リスク検査を目的としたヘルスケア領域等での受託検査 ③血液疾患を対象とした創薬や検査薬の研究開発コンサルティングや受託研究開発 ④血栓症や出血症の診断に向けた体外血液検査・診断薬と検査装置の開発製造



薬学博士（長崎大学薬学）

1984年鹿児島大学理学研究科生物化学修士課程修了後、(財)化学及血栓療法研究所入所。

2003年Scripps研究所（米国）へ転職。20218年MERU VasImmune社（米国）と兼職

帰国後、2019年に血栓トランスレーショナルリサーチラボ設立、代表取締役就任。

世界で唯一の“血液のかたまりやすさ”検査



SMAT[®] (スマット)

血液のかたまりやすさを
高感度に、定量的に測定
より生理的な条件に近い

“凝固能”

目的：

- ・ 営業および啓蒙活動用資料の作成およびブラッシュアップ
- ・ 事業計画、資金計画の見直し（CVCへコンタクト）
- ・ ブランディングの見直し

実施内容：

- ・ 新規営業資料の作成
- ・ WEBでの伴走支援（①11/6、②12/3、③12/22、④1/14）
- ・ ブランディングセミナー参加（1/7、石坂昌也氏ご講演）
- ・ Positive Age Fes 参画による啓蒙活動（3月予定）

伴走支援の成果



- ① 血液検査のブランディングを見直す明確なきっかけになった

「何を測る検査」ではなく

“ユーザーにとって何が分かる検査か”という視点に転換

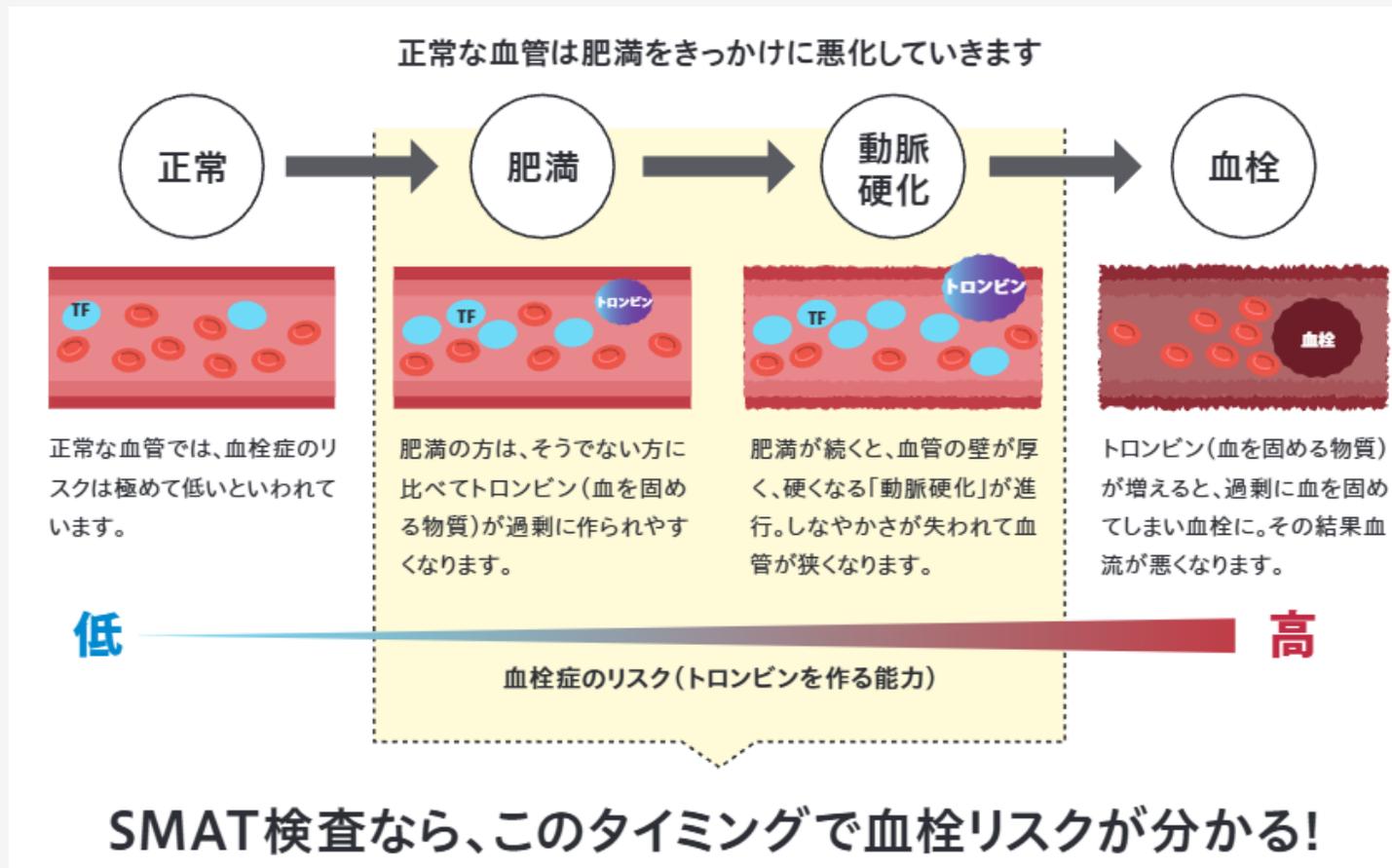
伴走支援の成果



② 啓蒙や営業活動に適した新規デザインのフライヤー完成

“肥満”をキーワードに
一般向けに整理・構成

従来検査との違いが
直感的に分かるイメージ図



今後の展望（血液凝固検査SMAT[®]が目指す未来）



研究用途 ⇒（今このあたり）⇒ 臨床現場

ベッドサイドで使える血液検査！？

災害医療・震災関連死の予防への応用

「いつでも・どこでも使える」

血液検査キットを開発しています！

昨年のコーディネート事業（トライアル）より、引き続きお世話になりました。

令和7年度UXプロジェクト・コーディネート事業

熊本県産業支援課より 金森様

トーマツより 田島様 山下様 小松様 羽根川様

ご支援ありがとうございました

THANK YOU



Beyond the Laboratory Blood Clot Tests